

旧門脇小学校校舎の整備に関するケース別比較（案）

整備パターン	校舎：部分保存 特別教室・屋内体育館：全体保存				校舎：全体保存 特別教室・屋内体育館：全体保存	
ケース	ケースB		ケースC		ケースD	ケースE
ケース別校舎整備内容	本校舎の3階までの一部を保存 震災を伝承する上で重要な部屋・場所を保存 		本校舎の2階までの一部を保存 震災を伝承する上で重要な部屋・場所を保存 		本校舎の一部及びファサード全面を保存。 構造補強を兼ねた観察棟を増築し、保存対象の内側から観察。 	本校舎全てを凍結保存。 観察棟を増築し、保存対象の外側から観察。 
本校舎保存規模	1,369 m ²		1,068 m ²		6,713 m ²	8,243 m ²
保存条件	本校舎内部の立入あり	本校舎内部の立入なし	本校舎内部の立入あり	本校舎内部の立入なし	本校舎内部の立入なし 保存対象の内側（観察棟）から観察	建物内部の立入なし 外部（観察棟）から観察
震災伝承	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に伝えられる内容は限られるが、津波と火災による複合的な被害や避難の教訓をある程度伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な保存で内部を見ることができないため、津波と火災による複合的な被害について視覚的に伝えられる内容が非常に限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に伝えられる内容は相当限られるが、津波と火災による複合的な被害や避難の教訓をある程度伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> かなり部分的な保存で内部を見ることができないため、津波と火災による複合的な被害について視覚的に伝えられる内容が非常に限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内部に残る津波と火災の痕跡を近距離から見ることができ、被害の大きさを体感することができる。 かつての地域の象徴としての校舎の前面を残すことで、震災前の門脇小学校や地域の歴史を想起することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> かつての地域の象徴としての校舎の姿をそのまま残すことで、震災前の門脇小学校や地域の歴史を伝えることができる。 校舎内部に残る津波と火災の痕跡を観察棟から見ることができ、被害の大きさを視覚的に伝えることができる。
地域住民への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な保存のため、地区住民の「気持ち悪さ、怖さ」などの感情を和らげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> かなり部分的な保存のため、地区住民の「気持ち悪さ、怖さ」などの感情を和らげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 高木で囲む等の配慮は可能であるものの、地域における校舎の存在感は大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高木で囲む等の配慮は可能であるものの、地域における校舎の存在感は大きい。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト、特に本校舎整備費）が高額になる。 ケースD、Eと比較すると、維持管理費用（ランニングコスト）が抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト）が比較的低額になる。 維持管理費用（ランニングコスト）が低額になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト）が比較的低額になる。 ケースD、Eと比較すると、維持管理費用（ランニングコスト）が抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト）が最も低額になる。 維持管理費用（ランニングコスト）が最も低額になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト）が最も高額になる。 維持管理費用（ランニングコスト）が高額になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用（イニシャルコスト）が高額になる。 維持管理費用（ランニングコスト）が最も高額になる。
法的適合性	<ul style="list-style-type: none"> ※減築であり、構造上の法適合性は必要ないが、内部活用なので、安全性確保の観点から耐震補強を上図の範囲で行う。 ※そのため、外壁面に構造材等が出てくることは想定していない。 ※法8条や消防法等への適合性は不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> ※減築であり、構造上の法適合性は必要ないが、内部活用なので、安全性確保の観点から耐震補強を上図の範囲で行う。 ※そのため、外壁面に構造材等が出てくることは想定していない。 ※法8条や消防法等への適合性は不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> ※減築であり、構造上の法適合性は必要ないが、内部活用なので、安全性確保の観点から耐震補強を上図の範囲で行う。 ※そのため、外壁面に構造材等が出てくることは想定していない。 ※法8条や消防法等への適合性は不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> ※減築であり、構造上の法適合性は必要ないが、内部活用なので、安全性確保の観点から耐震補強を上図の範囲で行う。 ※そのため、外壁面に構造材等が出てくることは想定していない。 ※法8条や消防法等への適合性は不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> ※本校舎内部に観察棟を設けることは、既存校舎の主要構造部の変更を伴うことになるため、全ての構造を現行法に適合させる必要がある。 ※そのため、外壁面に構造材が出てくるなどの構造的な措置が出る可能性がある。（震災遺構としての伝承性に課題が残る。） 	
イニシャルコスト	775,000～865,000	505,000～555,000	550,000～690,000	450,000～590,000	975,000～1,115,000	815,000～949,000
小計（本校舎関連）	480,000～540,000	210,000～230,000	250,000～360,000	150,000～260,000	680,000～790,000	525,000～630,000
小計（その他）	295,000～325,000	295,000～325,000	300,000～330,000	300,000～330,000	295,000～325,000	290,000～319,000
ランニングコスト（10年間）	85,000～96,000	85,000～96,000	72,000～83,000	72,000～83,000	110,000～121,000	143,000～154,000
周辺伝承関連施設とのバランス	<ul style="list-style-type: none"> コアの部分は保存するものの、全体保存する場合より認識度は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> かなり部分的な保存のため、周辺から認識されづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 震災遺構としてのインパクトが損なわれず、隣接の復興祈念公園から望んだ場合にも存在感を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 震災遺構としてのインパクトが損なわれず、隣接の復興祈念公園から望んだ場合にも存在感を持つことができる。
屋内体育館特別教室棟	<ul style="list-style-type: none"> 屋内体育館・特別教室棟は保存・改修して活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内体育館・特別教室棟は保存・改修し、本校舎と連携させて活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内体育館・特別教室棟は保存・改修し、本校舎と連携させて活用する。